

## 5月定例記者会見会議録

平成28年5月2日(月) 午前11時～  
伊賀市役所2階第3会議室

### 1. 市長からの発表

先月発生した熊本地震から、2週間あまりが過ぎました。

記者会見の前に、被災建築物応急危険度判定の活動に参加しました伊賀市職員の重根主査から現地などの様子の報告を受けました。電気、水道など普段の生活に復旧の目処はついたようですが、依然としてたくさんの方が避難生活を余儀なくされております。また改めて犠牲となられて方のご冥福をお祈りしたいと思ひますし、被災された方々にお見舞い申し上げたいと思ひます。

伊賀市としては、この震災に対して4月18日に三重県を通じましてアルファ化米4000食お届けすると共に、19日から日赤義援金の箱を窓口に、25日からは先ほどお話をしました応急危険度判定士を現地に向かわせました。さらには避難生活をされている方々向けに市営住宅10戸を用意しております。その他、保健師や給水車1台、給水袋1000袋、さらには災害で発生したゴミ等の運搬用としてトラックとパッカー車を各1台、要請があれば応援活動に向かわせる用意をしているところであります。東海、南海、東南海地震の発生が言われていますが、伊賀市としましても5月12日の午後4時から開きます災害対策本部会議で安心安全災害に強い伊賀市づくりに向けて体制の確認など備えを強化したいと考えております。

さて、先月2日から始まりました伊賀上野忍者フェスタであります。今月5日までということですが先の三連休、天気も良くてたくさんの方々が家族連れが忍者姿で街中を歩く姿が見受けられました。そしてフェスタ期間中の先月24日からありますけど、上野南公園で子育て相談広場、にんにんパークをオープンさせました。今月からは月2回、第2、第4の日曜日に開きます。幼児向けのからだそだてプログラムや保育士による子育て相談をはじめ、子どもが楽しく遊べるよう、有料で子ども用の忍者衣装の貸出しを行うなど子育て支援を行います。オープン初日24日ですけど25組およそ100の方が利用いただきました。来ていただいた利用者、親御さんからは自然いっぱい広々とした芝生の広場で遊べて満足した。あるいは、にんにんタイムに興味などの意見のほか、自動販売機があればいいとか、参加スタンプカードがあれば楽しみがもっと増えるとの意見もありました。今後さらにこうした利用される市民の方、あるいはお出でいただく方々の意見をもって充実させていきたいと思ひています。ぜひ、多くの方に利用していただきたいと思ひます。

ナイト ライブラリー アンド ミュージアム  
(1) 「Night Library & Museum

～キラキラとともに～」開催について (資料No.1)

伊賀市では新しい図書館のあり方、市の拠点であり交流の拠点である、また、賑わい創出にも繋げるものとして今後整備する図書館像を目指しているところでもありますけども、このナイトライブラリーによる、夜の図書館を素敵に楽しむイベントとして開くもので、今年で5回目の開催となります。5月の13日の金曜日、14日土曜日の2日、上野図書館で開きます。時間はいずれも午後4時半から午後8時半までです。今回キラキラ光る高校生と伊賀でキラキラ輝く作家の作品、ステンドグラスが夜の図書館を彩ります。詳細は配布のチラシのとおりでありますけども、上野高校のギターマンドリン部による演奏や、アイリッシュハーブの演奏などがあります。14日の土曜日の朗読の夕べでありますけど、私も出演いたします。これがその台本であります。何を読むかと申しますとサンテクジュペリ原作、星の王子さま、大体40分かかるということでもあります。それにまだ読みこんでおりませんが、お尻に火が付いてきたので一生懸命やらさせていただきますということでございます。なお、定員の都合で一部に予約があるものもあります。また当日は図書整理期間中のため本の貸出しは出来ないということです。詳しくはチラシの方を参照していただきたいと思います。とりあえず私の方は以上でございます。

## 2. 5月の主な行事予定

(1) 第29回余野公園つつじ祭 (資料No.2)

日時：5月8日(日) 午前10時～

場所：余野公園

問い合わせ先：伊賀支所振興課 (45-9111)

(2) 第29回青山高原つつじクォーターマラソン大会 (資料No.3)

日時：6月5日(日) 開会式 午前10時～

▼3km 小学生男女

(スタート 10:30)・・・小学生3年生以上

▼3km 一般男女

(スタート 10:30)・・・中学生以上

▼5km 一般男女

(スタート 11:00)・・・中学生以上

▼クォーター (10.55km) 一般男女

(スタート 11:00)・・・中学生以上

場所：青山高原ロード折り返しコース (開会・閉会式は山頂小屋付近)

問い合わせ先：スポーツ振興課（0595-22-9635）

### 3. その他

#### (1) 伊賀市長の資産等の公開について（資料No.4）

期日：5月16日（月）～

場所：伊賀市役所情報公開室（上野ふれあいプラザ2階）

時間：8時30分～17時15分（土・日曜日、祝日を除く）

問い合わせ先：秘書課（0595-22-9600）

#### (2) 主な質疑応答

記者：熊本地震で現地市役所庁舎の耐震面について、使えなくなったとか、罹災証明を外に出しているとか、災害対策本部も外でやっているなどといった報道を見られて何か思われることはありますか。

市長：多分皆さん聞きたいのは南庁舎の耐震がどうかということでしょうけども、これは第三者委員会でしっかりと部分的に修理をすればしっかりと使えるという答えを頂いているので、要はそれが早く出来るかどうか、市議会でお認めいただけるかどうかだけの話であると思います。不幸にして罹災したとしても、伊賀市にも様々な公共施設がありますので、そうした対応はできると思いますし、先ほど申しました、12日の災対本部で今後どういう風なことを考えていかなければならないかというところで、そうしたことも具体的なことも考えていければと思っております。

記者：南庁舎の使い道がはっきりしないと本格的な耐震工事は出来ないということですか。

市長：私どもは使えるよと言っているけども、第三者委員会の報告を参酌されていないということが問題なのではないかと思えます。

記者：関連してお伺いしますけども、庁舎の壁面の洗浄の件ですけども、その後進捗はありましたでしょうか。

市長：まだそこまで至っておりません。まだ他にもやらなければいけないことがいろいろあって。

記者：ファンドでそういった資金を募るというお考えがあるのですか。

市長：はい。

記者：サミットにつきまして、何か計画があるなら教えていただきたいですが。

市長：サミットについて、私どもで出来ることを全部一冊にまとめまして、既に提出してあるところでありまして、各国要人の安全確保の為に直前までいろんなオファーが来ません。今のところ、私どもでは要望

を受けていない状況ですが、県や我々自治体も含めて、サミット関連情報が完全にコントロールされている中では何をしていけばいいのかということは具体的にはまったく見えていません。でも、申し上げた冊子のあたりに書いてあるような、もし本当にやらなければならないことがあったら内々でも早く言っていただかないと、皆さんいろんな都合があると思っておりますのでそのところは少し心配ですね。もう一か月を切ったわけですから。

記者：いつぐらいに反応があるのですか。そのときにまた聞きますけど。

市長：まったくわかりません。すべて非常に情報コントロールがしっかりとされているということです。テロ対策でしょうけど

記者：また決まりましたら教えてください。

記者：新庁舎ですが、計画では平成30年後半に竣工しますよね。2年余りあるのですが、その間ここを使い続けますが、その間に本格的な耐震工事が出来ないものですか。

市長：そういうことも含めていろいろこれから考えていかざるを得ないだろうなど。自ずとタイムリミットがある話ですから。特例債を使える範囲という中で、ですから本庁舎の建築についても、どこで物理的に巻き上げることができるのかとか、あるいは他にどういう風にしたらいい工夫があるのかということは当然考えていかなければいけないと思っております。

記者：発表されているところの話かも知れないですけど、ウィッツの件で先般無償譲渡の話が出たところで、すぐにその内容についてご確認されるという話が出たんですけど、その後何かわかりましたか。

教育次長：ウィッツの件ですが、今のところは、直接市にはなんの連絡はないというような状況でございます。報道の中でそういったお話が出たと言うことでございます。それについては真意を確認していきたいと思っておりますけど、まだ内容については学校自体も直接はまだ聞いていないということでございます。

市長：我々は(株)ウィッツの白根社長がどういう風に考えているのか、といったことを問いたださなければいけないという風に思っております。その考えを文書でいただきたいと思っております。

記者：まだ出していないのですか。いつ出しますか。

市長：難しいことじゃないから今日中に出すでしょう。

記者：何の文書ですか。変更命令ではない？

市長：福村さんがあんなこと言っていたけど、それはあなたのところがいろいろと考えなければいけないことなので本当はどうなのですか。あなた何を考えているのですか。事実関係と見解をお述べください。

記者：白根社長に。

市長：そうです。だって東理ホールディングスの福村さんが譲渡って、それはないでしょう。言うべき人は(株)ウィッツの白根社長でしょう。

記者：事務方の担当者に質問ですが、前はよくよく考えたら何で福村さんに来ていただいたのですか。

教育次長：福村さんに来ていただいたのは、あくまでもウィッツの役員なので。ただ、あの場合福村さんは東理から来たと言いましたけど、紹介は役員です。

市長：だから彼としては(株)ウィッツの役員として来たのであれば、それ以上は述べるべきではなかったのですが、彼は東理ホールディングスの福村氏として、いろんなことを喋ったということですから、これは(株)ウィッツの役員としての部分とそれから社長の白根さんがどういう風に考えているかということをしつかりと再確認して表明していただかないといけない。

記者：ウィッツの役員、複数いますけど福村さんにしたのはどうしてですか。

市長：なんで福村さんと呼んだかですか。彼を特定して呼んだの。

教育次長：最初から係わって一番内情をよくご存知で、また東理の方にもホールディングスの社長でもありますしそういった関係でお呼びしました。

記者：確認ですけども、最後までしっかりと責任を持ってもらってウィッツももちろんですけども東理ホールディングスも含めてしていただくということですか。

市長：もちろん。極めて当たり前のことです。

記者：具体的にいうと改善計画、再履修このあたりですか。

市長：すべて親会社としての責任を果たしてもらわないと。トカゲの尻尾を切っておしまいということでは。

記者：昨日も回復措置、再履修この3日間行われましたけども参加者数につきましてはどのように評価されますか。

教育次長：現在参加された方はおよそ15%程度だったのですが、日程的な部分でこの連休中にお世話になりたいということで通知しましたが、通知から実施まで期間も短くて参加される方のなかなか段取りもつかなかったということもございます。今後は早い時期からお知らせもしてそして早い時期に履修を終わっていただけるようなことを着々とやっていきたいというように考えていきたいと思っております。

記者：ちなみに通知はいつ行ったのですか。

教育次長：教育委員会の文書としましては4月20日付けで出させていただきました。総勢398名です。

記者：ちなみに9月生も入っているのですね。

教育次長：はい。おっしゃるとおりで、3月末に問題となりました卒業証書を交付された者が397名、それと9月の途中から年度の途中9月から入学された方が今年の9月に卒業予定でいますのでそれも足しまして398名対象です。

記者：依然として身売りの話は報道を通してしかしてないですね。

記者：身売りの関係で記事を書かせてもらいましたがレッツキャンパスも一つ選択肢のようなのですが、認められないってことですね。

市長：そうです。